H26年度クラブマネージャー養成講習会〈基礎・春編〉

開催日：平成26年6月7日，8日

【1日目】

講義1：地域スポーツクラブとは

講師　作野 誠一　氏（早稲田大学）

最初の講義は、早稲田大学の作野先生に「地域スポーツクラブとは」のタイトルでお話頂いた。最初に、総合型クラブがどういった性質を持つものなのか、地域にどのような効果をもたらすのかといった基礎的なことが、国のスポーツ政策や事例を交えて説明された。そして、安定したクラブ運営のために重要な、経営資源や他組織との関わりについて“鍋”に例えて示して頂いた。それぞれの地域の資源や環境に合わせた独自のクラブづくりを行っていくことが大切であるという事が伝わった。また、クラブの設立にあたっては、地域の問題や課題を認識し、その解決のための役割を担うという意識が必要であると説明されていた。工夫されたわかりやすい説明に、受講者は満足の様子であった。

講義2：地域スポーツクラブの現状

講師　方 住月　氏（東京都広域スポーツセンター）

講義は、受講者の緊張をほぐすアイスブレイクから始まった。本題では、東京都の事例を中心に、育成状況などの地域スポーツクラブの現状について説明がなされた。東京都のスポーツ施策や地域スポーツクラブへの育成支援など、広域スポーツセンター専門員ならではの観点から、講義が展開された。県外からの受講者からは、東京都の地域スポーツクラブへの育成支援の充実ぶりに驚くような意見も見られた。また、都内を拠点に活動している受講者にとっても未知の部分があり、今後に生かせる講義となったようであった。

講義3：クラブのつくり方

講師　川邊 保孝　氏（東海大学）

午後の講義は、東海大学の川邊先生の講義から始まった。内容は主に、クラブを取り巻く人や組織との関わりと、クラブのビジョンやミッションについてであった。クラブはクラブ内の力だけでは成り立たず、地域や行政などとの連携が必要であるという前提があり、その中でどのような関わり方をしていくべきなのかということを、川邊先生の持論も交えてお話頂いた。また、クラブが存続していくためにはビジョンやミッションが明確になっていることが重要であるとして、よいビジョンの条件が提示され、ワークによって受講者それぞれのビジョンを明確にする作業が行われた。ワークを行ったことで、受講者はそれぞれの立場で講義内容を考えることができ、有意義な時間となったようであった。

講義 4：クラブの設立・運営　～事例報告～

講師　森田 幸一郎　氏（一般社団法人ほんまちクラブ）

１日目最後の講義は、事例報告としてほんまちクラブの森田氏にお話し頂いた。講義は、ほんまちクラブの概要から始まり、設立経緯やクラブの目標、実際のプログラムや運営の様子まで成功・失敗談を含めながら細かく説明された。最後は質疑応答の時間を設け、受講者側からいくつか質問が挙がり、森田氏にお応え頂いた。地域スポーツクラブの運営に携わっていたり、これから設立を考えている受講者にとっては、長年運営を続けている方の生の声を聞くことができたことは、大変貴重なことであり素晴らしい情報となったようであった。

【2 日目】

講義 1：クラブマネジャーの役割

講師　水野 基樹　氏（順天堂大学）

２日目最初の講義は、順天堂大学スポーツ健康科学部の水野先生にお越しいただき、クラブマネジャーの役割についてお話し頂いた。大学で経営組織論を専門にしていることから、リーダーシップや、コミュニケーションの大切さを実感した時間であった。講義を聞くだけでなく、自己分析やグループワークをする時間を設け、受講者同士がコミュニケーションをとれた。休み時間に情報交換や談笑するきっかけとなっていた。また経営資源をいかに分配してマネジメントしていくか、組織においてのクラブマネジャーの重要性を知ることができたようであった。

講義 2：クラブの設立・運営　～事業の企画と運営～

講師　松岡 宏高　氏（早稲田大学）

最後の講義は、マーケティングの観点から事業の企画や運営方法などを中心に講義して頂いた。むやみやたらにプログラムを実行するのでなく、マーケティング調査をもとに、その地域にあったニーズを知ることが大切だとおっしゃっていた。講義内でのグループワークでは、マーケティング戦略プランを考え、対象者をセグメントし、誰が対象なのか、費用はどのくらいなのかなど、実践的な演習を行い、事業を計画する際に使える術を学んでいた。